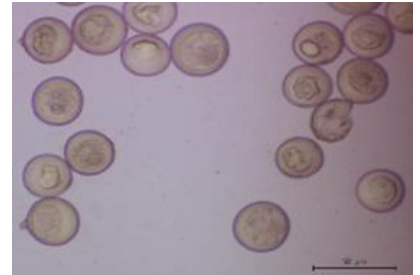


ダニ・スギアレルゲン不活化試験のご案内

環境中のアレルギーの原因となる物質として代表的なものにダニアレルゲン・スギアレルゲンがあげられます。このアレルゲンについての酵素免疫測定法（ELISA 法）による測定を受託しております。下記のようなご希望がある場合はご相談ください。

- ・液剤や繊維製品などにアレルゲン分解作用があるかどうかを確認したい。
- ・空気清浄機などのフィルターにアレルゲン不活化作用があり、「加工品」と「未加工品」の比較をしたい。



スギ花粉の顕微鏡観察写真

対象品

- ・ 一般工業品(空気清浄機等), 繊維製品 (布, 不織布等), 化学工業品など

測定可能アレルゲン

- ・ スギ花粉抗原「Cryj1」
- ・ ダニ抗原「Derf1：コナヒョウヒダニ排泄物由来アレルゲン」

試験方法

- ・ 使用目的・対象品に応じて試験設計を致します。

《試験例》

アレルゲン溶液を調製



試料及び対照品とアレルゲン溶液を接触し一定時間反応



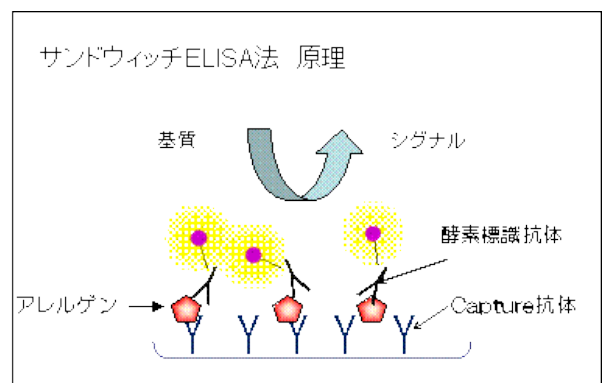
アレルゲン溶液の回収



ELISA 法で測定



試料と対照品のアレルゲン量を比較します。



価格(税別)

- ・ 一般的な検体(液剤・繊維など)の場合(1 検体～)
スギアレルゲン：15 万円より
ダニアレルゲン：17 万円より
- ・ 複数検体の場合、割安になりますのでご相談ください。
- ・ 別途抽出条件によっては追加料金をいただくことがあります。
- ・ ダニまたはスギの 1 項目からご依頼いただけます。

必要量

- ・ ご依頼内容により変わりますので、ご相談下さい。
- 例) フィルター等繊維製品の場合、1 検体あたり A4 サイズ 1 枚程度～
液剤の場合、50ml～
- ・ 検体によるアレルゲンの低減量を調べたい場合は、未加工の対照品も合わせてご用意ください。

納期

- ・ 試薬入手後、約 1～2 ヶ月
- ・ 進捗状況を随時メール等でご連絡いたします。

注意事項

- ・ 実際の使用条件での結果とは異なる可能性がございます。また、検体の仕様(作動方法、形状等)によっては、試験が実施できない場合や、試験内容を変更する可能性がございます。
- ・ この試験は、アレルギー反応を確認する試験とは異なります。アレルゲン濃度が低減したとしても、必ずしも実際のアレルギー発症が抑えられるとは限りません。